

一人一人の願いが叶い、人が繋がり、さらに未来の扉が開くことを願って

願いが書かれたリボンを鹿島神宮にお納めしました

東武タワースカイツリー株式会社

東武タワースカイツリー（本社：東京都墨田区）が運営する東京スカイツリー®の天望デッキには、お客さま一人一人の、願いが書かれている色とりどりのリボンが2つのモニュメントに結ばれています。

2020年9月には国内がコロナ禍で厳しい状況となる中で、『この困難を乗り越え、新たな未来に向けて前進するすべての人の気持ちを後押ししたい』という想いを込め、モニュメント「WISH RIBBON」を設置しました。そして2021年4月22日のアースデーには、国内のみならず世界に対して、東京スカイツリーが世界の希望のシンボルとなるよう、新たなモニュメント「Tree of Hope」を設置し、願いや希望を集めその想いを発信することで、人々の結束や団結、平等を願うキャンペーン『WISH RIBBON DISCOVER & CONNECT THE WORLD』もスタートしました。

今年10月末時点で、これらの両モニュメントに結ばれたリボンは、実に約13,000本以上。リボンには、「コロナウイルスがおさまりますように」、「Wishing for a fairer world」「人をたすける仕事ができますように」といった、コロナ収束への期待や世界平和への祈り、平等を願う気持ち、自身の夢に対する決意や家族を想う願いなど、様々な願いが書かれています。

このたび、展望台から見て、東に位置する茨城県鹿嶋市の鹿島神宮方面から日が昇り、西の富士山頂に日が沈みダイヤモンド富士となる、太陽の動きに由縁する立冬の11月7日（日）、モニュメントに結ばれたリボンの一部（約10,000本）をレイラインの始まりに位置する鹿島神宮に初めてお納めしました。

そしてこのリボンを通じて人々の願いが繋がり、困難を乗り越え、夢をかなえられた方々の実際のエピソードがありました。

太陽の通り道であるといわれるレイライン上に位置し、“都内屈指のパワースポット”と言われている東京スカイツリーは、両モニュメントに結び付けられた願いが叶い、想いがつながり、そしてより良い未来が訪れることを願って、今後もこの取り組みを続けてまいります。

以上



△鹿島神宮における正式参拝の様子



△モニュメント WISH RIBBON



△モニュメントに結ばれたリボン

©TOKYO-SKYTREE

【一般の方のお問い合わせ】

東京スカイツリーコールセンター TEL 0570-55-0634 (11:00~19:00)

<参 考>

■鹿島神宮でのお納めの様子

展望台から見て、東に位置する茨城県鹿嶋市の鹿島神宮方面から日が昇り、西の富士山頂に日が沈みダイヤモンド富士となる、太陽の動きに由縁する立冬の11月7日（日）、モニュメントに結ばれたリボンの一部（約10,000本）をレイラインの始まりに位置する鹿島神宮に初めてお納めしました。



△鹿島神宮 本殿で行われた正式参拝の様子

鹿島神宮

鹿島神宮は、常陸国風土記では神武天皇元年（紀元前660年）の創建と伝えられる由緒正しい、長い歴史を持つ神社。日本全国に約600社ある鹿島神社の総本宮であり、平安時代には、国の守護神として篤く信仰され、中世～近世以降は源頼朝、徳川家康などの武将の尊崇を受けて参りました。祭神は武甕槌大神（たけみかづちのおおかみ）で、武の神として古くから広く信仰されています。



△鹿島神宮 拝殿

■鹿島神宮からのコメント

コロナ禍後の新しい世界に進まれる「WISH RIBBON」に御参加された皆様の道程に安寧が訪れますよう、『日出ずる処の宮』『旅立ちを守護する 鹿島立ちの宮』 鹿島神宮にて御祭神 武甕槌大神の御利益を皆様が授けられますよう御祈願申し上げます。

■ リボンがつないだ人々の願い（HOPE）のエピソード

「WISH RIBBON」の取り組みに対して、2021年7月15日(木)、私たちはある中学生の親御さまから電話をいただきました。

「コロナ禍で展望台に行くことはできない…。でも娘が所属するラグビー部でお世話になっている娘の仲間がいる。その仲間は、ある病気で辛い思いをされていて、その子や娘のために祈ってあげたい。今はコロナで行けないからリボンを送ってもらえませんか。また書き込んだリボンを送るので、展望台のモニュメントに結んでもらえませんか。」

私たちは、その想いにぜひ応えたいと思い、リボンを送りました。そして願いの書かれたリボンと共に、リボンを書き込んでくれた部活のチームメイトから手紙を受け取りました。そこには、『私たちが願えばかならず光はさします。』『私たちがメソメソしていてもだめだと思い、「WISH RIBBON」へ参加させていただきました。』『どんな大雨でもいつかは止む。そんな希望をもってこの「WISH RIBBON」を書かせていただきました』という強い想いのあふれたメッセージが書き込まれていました。私たちは、強い想いが込められたそのリボンを東京スカイツリー®公式キャラクターのソラカラちゃんと一緒に展望台のモニュメント「WISH RIBBON」に結び付け、その様子を画像で送って差しあげました。



△チームメイトに送った、ソラカラちゃんがリボン結び付ける実際の画像

一方、東京スカイツリーでは、グローバルキャンペーン『WISH RIBBON DISCOVER & CONNECT THE WORLD』のウェブサイト上で願い（HOPE）を SNS 上で投稿してもらい、その夢を実現するプロジェクトを実施していました。この取り組みに数人のトップアスリートの方から賛同いただき、元日本ラグビー代表キャプテンである廣瀬俊朗氏も夢を実現するプロジェクトへの募集投稿を行っていただきました。

7月17日（土）、廣瀬氏の募集投稿に対して、「娘へ 怪我、病気に克つ！憧れの廣瀬さんを囲みチームメイトとグラウンドに立つ！未来を拓け！ママより」という書き込みの応募がありました。

実は、この二つのエピソードは、茨城県内の清真学園中学校に通う和田ゆきなさんに向けた幸せを願うアクションでした。当初は同じ人物に寄せられた願いであるとは気づかなかったものの、手紙の内容やプロジェクトへの投稿内容で、同じ人物への願いであることが判りました。

2021年11月5日（金）、夢を実現するプロジェクトに賛同いただいた廣瀬氏による、手術を乗り越えた和田さんをはじめ、彼女が所属する清真学園のラグビー部の生徒たちへの実技指導とトークセッションが行われました。当日は、廣瀬氏からラグビー部のチームメイトにデモンストレーションやワンポイントレッスンのほかにトークセッションを通じて、活発なコミュニケーションが行われ、お互いに充実した時間を過ごしました。



△廣瀬氏によるラグビーの実技指導



△廣瀬氏によるラグビーの実技指導の様子

このリボンから、病と共に生きるご自身とご家族の願い、そしてその願いを叶えたいと行動していただいた廣瀬氏の心が一つに繋がり、大きな輪となって広がり、明るい未来の扉が開かれた瞬間でした。

私たちは少しでも皆さまの願いが叶うことを願いつつ、想いがつながり、そしてよりよい未来の扉が開かれることを願い、今後も「WISH RIBBON」、「Tree of Hope」と共に前進する人の気持ちを後押ししてまいります。

<和田ゆきなさんのコメント>

『病気を受け止める』『手術を乗り越える』ことに涙が止まらない日々が続いた手術前。リボンを通して『ひとりじゃない』『夢のような瞬間』を感じ、虹がかかったような気持ちになりました。

<和田ゆきなさんお母さまのコメント>

リボンが繋いだラグビーのご縁。人との繋がりが未来を拓く大きな力になると確信出来ました。巡り合うことのできた皆様との出逢いに感謝しております。

<廣瀬俊朗氏のコメント>

色々なご縁を頂いて、和田ゆきなさんだけでなく、チームの皆に会えて、とても嬉しかったです。皆が楽しそうにラグビーをやっているシーンを見て、懐かしい気持ちになりました。また、一緒にラグビーもできて 仲間に入れてもらえて良かったです！ また、どこかの機会でお会いしましょう！



△11月5日（金）に行われた廣瀬氏によるラグビーの実技指導



△11月5日（金）に行われた廣瀬氏によるトークセッションの様子



△11月5日（金）に行われた廣瀬氏によるトークセッションの様子



△和田ゆきなさんと廣瀬氏

©TOKYO-SKYTREE

廣瀬俊朗氏プロフィール



1981年生まれ、大阪府吹田市出身
1986年 吹田ラグビースクールへ通い始める
2000年 大阪府立北野高校 卒業
2004年 (株)東芝 入社 東芝プレイブルーパス 入団
2005年 慶應義塾大学理工学部 卒業
高校日本代表や日本代表でも主将を務める
代表キャップ数(日本代表として試合に出た数)28
2015年 ラグビーワールドカップイングランド大会メンバーで歴史的な勝利を収める
2016年 現役引退
2017年 東芝プレイブルーパスコーチを2年間務める
2019年 (株)東芝 退社
(株)HiRAKU 設立
TBS「ノーサイドゲーム」浜畑謙役で出演
ビジネス・ブレイクスルー大学大学院 卒業 MBA 取得
ラグビーワールドカップ2019アンバサダー
2020年 日本テレビ系列 news zero 木曜パートナーとして出演

■ 都内屈指のパワースポット

東京スカイツリー®は明治神宮、皇居（昔の江戸城）、そして茨城県鹿嶋市の鹿島神宮を結ぶレイライン（古代の遺跡や聖地が一直線上に並んでいる線）の上に建っており、ポジティブなエネルギーが集まる場所と言われています。

立春・立冬には、太陽は東京スカイツリーの東側に位置する鹿島神宮方面から上り、西の富士山頂に沈みます。条件に恵まれば、展望台からはダイヤモンド富士を望むことができます。



△鹿島神宮と富士山を結ぶレイライン



△天望デッキ フロア350から望むダイヤモンド富士
(過去の様子)

■ モニュメント「WISH RIBBON」^{ウィッシュリボン}と「Tree of Hope」

『みんなでの困難を乗り越え、新たな未来に向けて前進するすべての人の気持ちを後押ししたい』という想いを込めたモニュメント「WISH RIBBON」を、“世界一高いタワー”であり、“都内屈指のパワースポット”とも言われる東京スカイツリーの地上350メートルにある展望台、天望デッキ フロア350に、2020年9月25日（金）より設置しました。

さらに、2021年4月22日（木）から海外との往来が厳しいなか、世界中から願いや希望を集めその想いを発信することで、人々の結束や団結、平等を願うグローバルキャンペーン『WISH RIBBON DISCOVER & CONNECT THE WORLD』を開始しました。同日に、この主旨に賛同頂いた写真家のレスリー・キー氏のディレクションのもと、東京スカイツリーが世界の希望のシンボルとなるよう想いを込めたモニュメント「Tree of Hope」を天望デッキ フロア350に設置しました。

これらの両モニュメントには、天望デッキで販売するリボンにご自身の願いを書き込んでいただき、結び付けていただけます。



△WISH RIBBON



△Tree of Hope



△モニュメントに結ばれた
リボン

©TOKYO-SKYTREE

以上